

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 日本ラッド株式会社

コード番号 4736 URL <http://www.nippon-rad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 大塚 隆一

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 佐々木 啓雄

TEL 03-5574-7800

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 2,981 | 8.8 | △286 | — | △308 | — | △323 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 2,740 | △27.0 | △429 | — | △475 | — | △474 | — |

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 △317百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △460百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | △80.58 | — |
| 23年3月期第3四半期 | △118.21 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 4,426 | 1,537 | 34.6 |
| 23年3月期 | 4,358 | 1,858 | 42.2 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,532百万円 23年3月期 1,840百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,106 | 18.5 | 37 | △34.4 | 14 | 94.7 | 26 | — | 6.57 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 24年3月期3Q | 4,505,390 株 | 23年3月期 | 4,505,390 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 24年3月期3Q | 488,300 株 | 23年3月期 | 488,234 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 24年3月期3Q | 4,017,120 株 | 23年3月期3Q | 4,017,158 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績とは様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |
| (6) 重要な後発事象 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けた動きが進むなか、政府債務問題に起因した欧州諸国の信用不安が、海外経済の減速や円高による輸出減少を招き、国内の景気の先行きは不透明な状況が依然として続きました。

情報サービス産業界におきましては、震災を契機とした情報システムの安全性確保やモバイル端末関連に対する需要は拡大しているものの、企業の情報化投資は、依然として慎重な姿勢は継続しており、事業環境は厳しい状況であることに大きな変化はなく推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、「品質向上」「人材強化」「新技術へのチャレンジ」をテーマに経営基盤の強化に取り組み、高収益体質と成長分野への進出に努めました。また、「排熱型データセンター」を「クラウドサービス」の戦略的基盤として位置付け、ネットワーク事業の強化拡大を図るとともに、これまでの組み込み系のシステム開発、ビジネスソリューションの提供等においても、より一層の付加価値の創造に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高29億81百万円（前年同期比8.8%増）、営業損失2億86百万円（前年同期は4億29百万円の損失）、経常損失3億8百万円（前年同期は4億75百万円の損失）、四半期純損失3億23百万円（前年同期は4億74百万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「プロダクトマーケティング事業」では、プロダクツ製品のラインナップのうち、クライアントPCの情報漏洩対策と資産管理機能を備えたパッケージ商品「MaLion(マリオン)3」と業界最速クラスのリアルタイム分析エンジンを持ち、企業活動に伴う各種数字の予測分析を行うソリューション商品「IBM Cognos TM1」の販売が伸長したこと、LED光源による大型壁面マルチスクリーンディスプレイパネルの販売が引続き牽引したことにより、売上高3億18百万円（前年同期比51.2%増）となりました。

「ビジネスソリューション事業」では、派遣常駐型は伸長したものの、地方事業所の受注環境が引続き厳しいことや不採算が発生している一部の開発案件が完了しておらず、売上高11億73百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

「システムソリューション事業」では、医療機関向け医事システムである再来受付機の新機種「MIS-SE7EN」の販売が伸長していること、特殊車両向け情報車載端末の通信方式FOMA化切替え需要により、売上高12億64百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

「ネットワーク事業」では、事業継続計画/管理（BCP/BCM）や災害復旧計画（DRP）の再考をはじめとして、IT投資の見直しを進める企業の要望に応えるため、ハイパフォーマンスへリニューアルした専用サーバ「Helios(ヘリオス)」シリーズの販売が好調に推移しました。

また、サービスの拡充と付加価値向上に努め、セキュリティ面と監査機能に重点を置きクラウド上に置いたファイルの保管場所をURL情報にして、メールのメッセージ等にてファイルを受け渡しすることでファイル共有を行うサービス「クラウドポスト」、パソコンからの自動バックアップを可能にする機能を追加したクラウド型のファイルサーバーサービス「Cumulus(キュムラス)」等をリリースして、SaaS(SaaS)™ブランドで展開しました。この結果、売上高2億24百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は25億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1億11百万円、仕掛品が1億24百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金4億32百万円の減少によるものであります。固定資産は18億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億78百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億15百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は44億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は12億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少いたしました。これは主に買掛金が1億20百万円、1年内償還予定の社債が2億40百万円減少しましたが、短期借入金が1億10百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億19百万円、受注損失引当金が1億1百万円増加したことによるものであります。固定負債は15億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億73百万円増加いたしました。これは主に社債が1億80百万円、長期借入金が2億65百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は28億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億89万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は15億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億20百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失3億23百万円及び剰余金の配当20百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は34.6%（前連結会計年度末は42.2%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1億11百万円増加し、12億2百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2億35百万円の収入（前年同期は1億37百万円の支出）となりました。これは主に、売上債権の減少4億32百万円、減価償却費1億65百万円、受注損失引当金の増加1億1百万円、たな卸資産の増加1億20百万円、税金等調整前四半期純損失3億14百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは5億63百万円の支出（前年同期は2億71百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得4億5百万円、無形固定資産の取得1億57百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4億40百万円の収入（前年同期は83百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純増加1億10百万円、長期借入れによる収入5億円、社債の発行による収入3億円、長期借入金の返済による支出1億15百万円、社債の償還による支出3億60百万円、少数株主の増資引受による払込額32百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成23年5月30日の決算短信で発表しました通期業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,091,128 | 1,202,393 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,169,076 | 736,368 |
| 商品及び製品 | 102,083 | 95,061 |
| 仕掛品 | 232,992 | 357,958 |
| 原材料及び貯蔵品 | 29,293 | 31,858 |
| その他 | 118,157 | 108,303 |
| 貸倒引当金 | △2,921 | △1,691 |
| 流動資産合計 | 2,739,810 | 2,530,250 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 748,353 | 964,128 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 74,870 | 44,649 |
| その他 | 330,734 | 409,427 |
| 無形固定資産合計 | 405,605 | 454,076 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 200,052 | 209,164 |
| 繰延税金資産 | 107,126 | 106,217 |
| その他 | 214,706 | 220,829 |
| 貸倒引当金 | △57,472 | △57,848 |
| 投資その他の資産合計 | 464,413 | 478,363 |
| 固定資産合計 | 1,618,372 | 1,896,567 |
| 資産合計 | 4,358,183 | 4,426,818 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 368,636 | 247,644 |
| 短期借入金 | 90,000 | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 158,576 | 277,701 |
| 1年内償還予定の社債 | 420,000 | 180,000 |
| リース債務 | 6,093 | 7,749 |
| 未払法人税等 | 15,409 | 15,651 |
| 賞与引当金 | 34,343 | 17,326 |
| 受注損失引当金 | 62 | 101,390 |
| 持分法適用に伴う負債 | 8,730 | 8,730 |
| その他 | 279,476 | 240,864 |
| 流動負債合計 | 1,381,329 | 1,297,059 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 240,000 | 420,000 |
| 長期借入金 | 372,556 | 637,624 |
| リース債務 | 12,100 | 21,044 |
| 退職給付引当金 | 294,421 | 310,713 |
| 役員退職慰労引当金 | 187,634 | 193,638 |
| 負ののれん | 4,732 | 2,622 |
| 資産除去債務 | 5,386 | 5,585 |
| その他 | 1,786 | 898 |
| 固定負債合計 | 1,118,617 | 1,592,128 |
| 負債合計 | 2,499,946 | 2,889,187 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 772,830 | 772,830 |
| 資本剰余金 | 880,425 | 880,425 |
| 利益剰余金 | 366,898 | 48,238 |
| 自己株式 | △226,398 | △226,419 |
| 株主資本合計 | 1,793,755 | 1,475,074 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 47,017 | 57,792 |
| その他の包括利益累計額合計 | 47,017 | 57,792 |
| 新株予約権 | 4,764 | 4,764 |
| 少数株主持分 | 12,698 | — |
| 純資産合計 | 1,858,236 | 1,537,630 |
| 負債純資産合計 | 4,358,183 | 4,426,818 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 2,740,250 | 2,981,427 |
| 売上原価 | 2,619,555 | 2,711,521 |
| 売上総利益 | 120,694 | 269,905 |
| 販売費及び一般管理費 | 550,282 | 555,978 |
| 営業損失(△) | △429,587 | △286,072 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,134 | 263 |
| 受取配当金 | 1,942 | 1,964 |
| 持分法による投資利益 | — | 939 |
| その他 | 2,092 | 1,808 |
| 営業外収益合計 | 5,168 | 4,976 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,356 | 18,233 |
| 社債発行費 | — | 7,800 |
| 持分法による投資損失 | 26,343 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 1,306 | — |
| その他 | 5,975 | 1,831 |
| 営業外費用合計 | 50,981 | 27,865 |
| 経常損失(△) | △475,400 | △308,961 |
| 特別利益 | | |
| 債務保証損失引当金戻入額 | 14,470 | — |
| 役員退職慰労引当金戻入益 | 37,288 | — |
| その他 | 3,536 | — |
| 特別利益合計 | 55,296 | — |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | — | 3,581 |
| 固定資産除却損 | 11,047 | 642 |
| 減損損失 | 1,018 | — |
| 事務所移転費用 | 33,415 | 1,505 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 6,168 | — |
| その他 | 2,503 | — |
| 特別損失合計 | 54,154 | 5,729 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △474,258 | △314,691 |
| 法人税等 | 7,549 | 13,134 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △481,807 | △327,825 |
| 少数株主損失(△) | △6,920 | △4,109 |
| 四半期純損失(△) | △474,886 | △323,715 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △481,807 | △327,825 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,563 | 10,774 |
| その他の包括利益合計 | 21,563 | 10,774 |
| 四半期包括利益 | △460,244 | △317,051 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △453,323 | △312,941 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △6,920 | △4,109 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △474,258 | △314,691 |
| 減価償却費 | 53,537 | 165,418 |
| 減損損失 | 1,018 | — |
| のれん償却額 | 13,628 | 12,664 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 6,347 | 16,292 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △32,036 | 6,004 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △19,772 | △17,017 |
| 債務保証損失引当金の増減額(△は減少) | △20,953 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 6,614 | △852 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | △2,425 | 101,328 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,076 | △2,228 |
| 支払利息 | 17,356 | 18,233 |
| 為替差損益(△は益) | 3,963 | 1,428 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 26,343 | △939 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | — | 3,581 |
| リース解約損 | 2,317 | — |
| 固定資産除却損 | 11,047 | 642 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 6,168 | — |
| 事務所移転費用 | 33,415 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 484,787 | 432,181 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △247,943 | △120,508 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 52,527 | △112,485 |
| その他 | △36,247 | 71,762 |
| 小計 | △117,640 | 260,813 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,112 | 2,238 |
| 利息の支払額 | △16,588 | △17,350 |
| 法人税等の支払額 | △6,620 | △9,788 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △137,736 | 235,912 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △50,000 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △83,296 | △405,353 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △137,346 | △157,113 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 139 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △23,064 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,017 | △99 |
| その他 | 22,994 | △916 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △271,731 | △563,344 |

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 192,000 | 110,000 |
| 長期借入れによる収入 | 30,000 | 500,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △55,017 | △115,807 |
| 社債の発行による収入 | — | 300,000 |
| 社債の償還による支出 | △60,000 | △360,000 |
| 少数株主の増資引受による払込額 | — | 32,000 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △4,012 | △6,207 |
| 自己株式の取得による支出 | △4 | △21 |
| 配当金の支払額 | △19,898 | △19,839 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 83,068 | 440,123 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △3,963 | △1,428 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △330,363 | 111,264 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,466,395 | 1,091,128 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,136,032 | 1,202,393 |

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。